



## 2020年3月期 第3四半期決算短信(日本基準)(連結)

2020年2月6日

上場会社名 芝浦メカトロニクス株式会社

上場取引所 東

コード番号 6590 URL <http://www.shibaura.co.jp>

代表者 (役職名) 代表取締役 社長執行役員 (氏名) 藤田 茂樹

問合せ先責任者 (役職名) 取締役 常務執行役員 経営管理本部長 (氏名) 池田 賢一

TEL 045-897-2425

四半期報告書提出予定日 2020年2月12日

配当支払開始予定日

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

### 1. 2020年3月期第3四半期の連結業績(2019年4月1日～2019年12月31日)

#### (1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2020年3月期第3四半期	34,763	9.1	2,751	1.2	2,603	2.1	1,792	1.3
2019年3月期第3四半期	38,227	11.7	2,717	57.8	2,549	60.4	1,768	55.0

(注) 包括利益 2020年3月期第3四半期 1,809百万円 (4.6%) 2019年3月期第3四半期 1,897百万円 (35.8%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
2020年3月期第3四半期	406.30	
2019年3月期第3四半期	401.41	

(注) 当社は、2018年10月1日付で普通株式10株につき1株の割合で株式併合を行っております。前連結会計年度の期首に当該株式併合が行われたと仮定して、「1株当たり四半期純利益」を算定しております。

#### (2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
2020年3月期第3四半期	57,987	19,574	33.8	4,435.30
2019年3月期	61,967	18,368	29.6	4,166.33

(参考) 自己資本 2020年3月期第3四半期 19,574百万円 2019年3月期 18,368百万円

### 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2019年3月期		0.00		140.00	
2020年3月期		0.00			
2020年3月期(予想)				110.00	110.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

(注) 当社は、2018年10月1日付で普通株式10株につき1株の割合で株式併合を行っております。2019年3月期の1株当たり期末配当金については、当該株式併合の影響を考慮した金額を記載し、年間配当金合計は「-」として記載しております。株式併合後の基準で換算した2019年3月期の1株当たり年間配当金は140円となります。

### 3. 2020年3月期の連結業績予想(2019年4月1日～2020年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	50,000	5.8	3,600	10.0	3,100	18.0	2,100	15.3	476.05

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

## 注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
- |                    |     |
|--------------------|-----|
| 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 | : 無 |
| 以外の会計方針の変更         | : 無 |
| 会計上の見積りの変更         | : 無 |
| 修正再表示              | : 無 |

(4) 発行済株式数(普通株式)

期末発行済株式数(自己株式を含む)	2020年3月期3Q	5,192,619 株	2019年3月期	5,192,619 株
期末自己株式数	2020年3月期3Q	779,196 株	2019年3月期	783,807 株
期中平均株式数(四半期累計)	2020年3月期3Q	4,411,314 株	2019年3月期3Q	4,406,624 株

(注)当社は、2018年10月1日付で普通株式10株につき1株の割合で株式併合を行っております。前連結会計年度の期首に当該株式併合が行われたと仮定して、「期中平均株式数」を算定しております。

四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

## 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

(将来に関する記述等についてのご注意)

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する主旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用に当たっての注意事項等については、添付資料P.2「1. 当四半期決算に関する定性的情報(3)連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

## ○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報 .....	2
(1) 経営成績に関する説明 .....	2
(2) 財政状態に関する説明 .....	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明 .....	2
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記 .....	3
(1) 四半期連結貸借対照表 .....	3
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書 .....	5
四半期連結損益計算書	
第3四半期連結累計期間 .....	5
四半期連結包括利益計算書	
第3四半期連結累計期間 .....	6
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項 .....	7
(継続企業の前提に関する注記) .....	7
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記) .....	7
(セグメント情報等) .....	7

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

## (1) 経営成績に関する説明

## ①業績全般について

当第3四半期連結累計期間における当社グループの事業環境は、FPD (Flat Panel Display) 業界については、大型パネル向け設備、中小型パネル向け設備ともに中国を中心に設備投資が継続しましたが、一部で納期延期や投資決定の遅れなどが見られました。半導体業界については、ロジック/ファウンドリ向け設備投資や中国での設備投資は堅調に推移しましたが、一部で投資決定の遅れやメモリ向け設備投資の回復の遅れなどが見られました。また、OSAT (後工程受託メーカー) での設備投資は抑制傾向が継続しました。

このような環境の中、当第3四半期連結累計期間の業績は、受注高は32,851百万円 (前年同期比24.8%減) となり、前年同期に比べ減少となりました。売上高は34,763百万円 (前年同期比9.1%減)、営業利益は2,751百万円 (前年同期比1.2%増)、経常利益は2,603百万円 (前年同期比2.1%増)、親会社株主に帰属する四半期純利益は1,792百万円 (前年同期比1.3%増) となり、減収増益となりました。

## ②セグメントの業績について

主な事業セグメントの業績は次のとおりです。

## (ファインメカトロニクス部門)

FPD前工程では、受注高は中小型パネル向け装置を中心に前年同期に比べ増加しましたが、売上高は前年下半期の受注高がやや低水準であったことの影響などにより減少しました。半導体前工程では、受注高はロジック/ファウンドリ向けが堅調に推移した一方、一部で投資決定の遅れなどが見られ、前年同期に比べ減少しましたが、売上高は増加しました。

この結果、部門全体では前年同期に比べ受注高、売上高ともに微減となり売上高は20,169百万円 (前年同期比2.1%減) となりました。セグメント利益は半導体前工程の増収に加え機種構成の変化やコストの改善などにより大幅に増加し1,403百万円 (前年同期比133.1%増) となりました。

## (メカトロニクスシステム部門)

FPD後工程では、受注高は大型パネル向け装置を中心に一部で投資決定の遅れなどが見られ、活況であった前年同期に比べ減少し売上高も減少しました。半導体後工程では、先端分野向け設備投資が進みましたが、モバイルデバイス用部品向け設備投資などで抑制傾向が見られ、前年同期に比べ受注高、売上高がともに減少しました。真空応用装置では、車載関連向け設備投資を中心に抑制傾向が見られ、受注高、売上高がともに減少しました。

この結果、部門全体では前年同期に比べ受注高、売上高がともに減少し売上高は11,666百万円 (前年同期比20.5%減) となりました。セグメント利益はコストの改善などが進みましたが、減収の影響などにより減少し1,235百万円 (前年同期比40.5%減) となりました。

## (2) 財政状態に関する説明

## 資産、負債及び純資産の状況

当第3四半期連結会計期間末の総資産は、前連結会計年度末に比べ3,980百万円減少し57,987百万円となりました。これは主に、受取手形及び売掛金が2,734百万円、繰延税金資産が368百万円減少したことによるものです。

負債は、前連結会計年度末に比べ5,186百万円減少し38,412百万円となりました。これは主に、支払手形及び買掛金が3,255百万円減少したことによるものです。

純資産は、前連結会計年度末に比べ1,206百万円増加し19,574百万円となりました。これは主に、親会社株主に帰属する四半期純利益1,792百万円の計上により利益剰余金が増加したことによるものです。

## (3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

通期業績につきましては、2019年11月7日に公表いたしました業績予想から変更はありません。

なお、新型コロナウイルスによる業績への影響については現在確認中であり、本業績予想には織り込んでおりません。

## 2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

## (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2019年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2019年12月31日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	13,186	13,053
受取手形及び売掛金	30,243	27,509
電子記録債権	495	500
商品及び製品	1,120	910
仕掛品	2,128	1,872
原材料及び貯蔵品	227	261
未収入金	1,902	1,697
その他	394	493
貸倒引当金	△197	△633
流動資産合計	49,500	45,664
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物	28,919	29,052
減価償却累計額	△20,092	△20,397
建物及び構築物 (純額)	8,826	8,655
機械装置及び運搬具	4,977	4,921
減価償却累計額	△4,085	△4,151
機械装置及び運搬具 (純額)	892	770
工具、器具及び備品	964	996
減価償却累計額	△742	△776
工具、器具及び備品 (純額)	221	219
土地	119	119
リース資産	297	284
減価償却累計額	△278	△266
リース資産 (純額)	18	17
建設仮勘定	457	998
有形固定資産合計	10,536	10,780
無形固定資産		
特許権	309	314
その他	372	405
無形固定資産合計	682	720
投資その他の資産		
投資有価証券	123	94
長期前払費用	16	12
繰延税金資産	826	458
その他	282	260
貸倒引当金	△1	△4
投資その他の資産合計	1,247	821
固定資産合計	12,466	12,322
資産合計	61,967	57,987

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2019年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2019年12月31日)
<b>負債の部</b>		
流動負債		
支払手形及び買掛金	15,134	11,878
短期借入金	5,100	5,100
1年内返済予定の長期借入金	4,500	3,200
リース債務	5	4
未払法人税等	1,156	88
未払費用	3,518	3,038
前受金	1,074	712
役員賞与引当金	39	29
受注損失引当金	3	-
その他	768	570
流動負債合計	31,300	24,622
固定負債		
長期借入金	1,500	3,000
リース債務	13	13
長期未払金	2	2
退職給付に係る負債	7,349	7,337
役員退職慰労引当金	14	20
修繕引当金	304	301
資産除去債務	36	36
長期預り保証金	3,078	3,078
固定負債合計	12,298	13,789
負債合計	43,598	38,412
<b>純資産の部</b>		
株主資本		
資本金	6,761	6,761
資本剰余金	9,037	9,037
利益剰余金	7,391	8,564
自己株式	△4,037	△4,021
株主資本合計	19,152	20,341
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	29	17
為替換算調整勘定	282	191
退職給付に係る調整累計額	△1,095	△975
その他の包括利益累計額合計	△784	△766
純資産合計	18,368	19,574
負債純資産合計	61,967	57,987

## (2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

(四半期連結損益計算書)

(第3四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2018年4月1日 至 2018年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2019年4月1日 至 2019年12月31日)
売上高	38,227	34,763
売上原価	27,303	23,478
売上総利益	10,924	11,284
販売費及び一般管理費	8,206	8,533
営業利益	2,717	2,751
営業外収益		
受取利息	3	4
受取配当金	1	2
投資有価証券売却益	-	19
為替差益	129	2
デリバティブ評価益	-	15
その他	68	21
営業外収益合計	203	65
営業外費用		
支払利息	97	92
デリバティブ評価損	222	-
その他	50	121
営業外費用合計	371	213
経常利益	2,549	2,603
税金等調整前四半期純利益	2,549	2,603
法人税、住民税及び事業税	440	440
法人税等調整額	340	370
法人税等合計	780	810
四半期純利益	1,768	1,792
親会社株主に帰属する四半期純利益	1,768	1,792

(四半期連結包括利益計算書)

(第3四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2018年4月1日 至 2018年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2019年4月1日 至 2019年12月31日)
四半期純利益	1,768	1,792
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△2	△11
為替換算調整勘定	△43	△90
退職給付に係る調整額	175	119
その他の包括利益合計	128	17
四半期包括利益	1,897	1,809
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	1,897	1,809



## (3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

## 【セグメント情報】

I 前第3四半期連結累計期間(自2018年4月1日至2018年12月31日)

## 1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント				合計
	ファインメカ トロニクス	メカトロニク スシステム	流通機器 システム	不動産賃貸	
売上高					
外部顧客への売上高	20,603	14,674	1,446	1,502	38,227
セグメント間の内部売上高又は振替高	48	122	0	—	171
計	20,652	14,797	1,446	1,502	38,398
セグメント利益又はセグメント損失(△)	602	2,077	△51	424	3,052

## 2. 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容(差異調整に関する事項)

(単位:百万円)

利益	金額
報告セグメント計	3,052
全社費用(注)	△344
その他	△157
四半期連結損益計算書の経常利益	2,549

(注) 全社費用は、報告セグメントに帰属しない当社の研究開発費のうち全社共通に係る要素開発費用であります。

## 3. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

## II 当第3四半期連結累計期間(自2019年4月1日至2019年12月31日)

## 1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント				合計
	ファインメカ トロニクス	メカトロニク スシステム	流通機器 システム	不動産賃貸	
売上高					
外部顧客への売上高	20,169	11,666	1,490	1,436	34,763
セグメント間の内部売上高又は振替高	30	166	0	—	197
計	20,200	11,832	1,490	1,436	34,960
セグメント利益又はセグメント損失(△)	1,403	1,235	△128	419	2,929

## 2. 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容(差異調整に関する事項)

(単位:百万円)

利益	金額
報告セグメント計	2,929
全社費用(注)	△258
その他	△68
四半期連結損益計算書の経常利益	2,603

(注) 全社費用は、報告セグメントに帰属しない当社の研究開発費のうち全社共通に係る要素開発費用であります。

3. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報  
該当事項はありません。